

メルボルン遊歩 自然界の賛美歌 ” ORGAN PIPE NATIONAL PARK” (Melway 3)

メルボルンの郊外には、12 使徒の奇岩に代表されるグレートオーシャンロードなど、自然が長年かけて作り出した地質学上価値のある場所がたくさんあります。

メルボルン空港から西へ数キロ、市内から北西約 20 キロ、Keilor North という地域にオルガンパイプと呼ばれる国立公園があります。公共交通機関で行くには、Flinders 駅より Craigieburn 線に乗り、Essendon で下車。そこからバス 483 番に乗り、Calder Highway & Organ Pipe Road で下車して入り口まで数分歩きます。駐車場近くの入り口には、案内所があり、高台から広大な自然公園が見渡せます。

The Organ Pipes



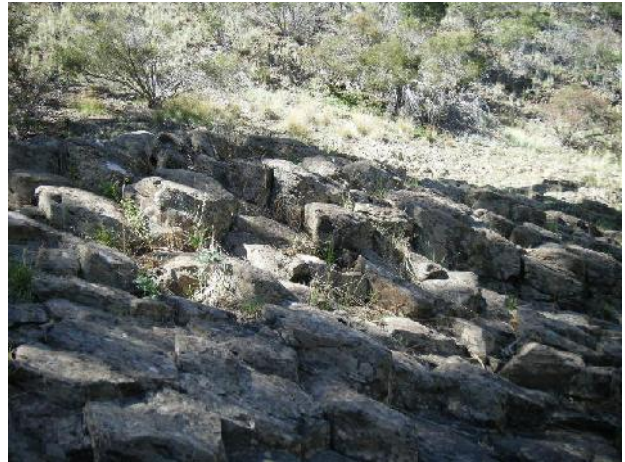
坂道を下っていくと、100 万年前に Mt. Holden はじめ近辺の火山の溶岩が渓流して形成されたパイプ状の岩壁が見えます。これは洪水玄武岩と呼ばれる火山岩で、ゆっくりと冷えたまり、教会の荘厳なパイプオルガンのような岩壁を作り上げたようです。今にもオルガンの音色に賛美歌を歌い、ミサが始まりそうな雰囲気です。近辺は 400 万年前の化石の宝庫でもあり、堆積岩から発掘される化石から、このあたりは海底だったことを示しています。

Rosette Rock

400 メーターほど歩くと、ロゼッタの岩に着きます。オルガンパイプのように火山流が、放射状に冷えて出来た玄武岩の壁です。出っ張った岩ではなく、ボールを投げ



込んで出来たような、複雑に掘り込まれた岩穴という感じですが、柵があるので、近づいて見られないのが残念で



す。

Tesselated Pavement

さらに 300 メーターほど歩くと、碁盤の目のように、岩が敷石のように並んだ石畳道に着きます。これも火山岩である玄武岩からなります。日本語に訳すと“市松模様の石畳”となりますが、表面はでこぼこなので、チェスや囲碁をするのには、ちょっと不便かもしれません。

1972 年から、一般に開放された、敷地面積 152 ヘクタールに及ぶ広大な国立公園です。入場料は無料です。朝 8 時半から夕方 4 時半まで、夏時間は夕方 6 時まで開園していますので、ゆっくりピクニックや、遊歩が楽しめます。公園内を Jackson Creek が流れていますので、クリークに沿っても遊歩が出来ます。

大昔はメルボルンも火山活動が盛んだったのだから、地下を深く掘れば、温泉のお湯がわくかな？とかすかな期待をもってしまいますが、何百年もの間に、地球が温



寒を繰り返し、残念ながら温泉の望みはほとんどないようです。Mornington 半島に温泉は一軒ありますが、火山とどう関係あるのか、研究をすると面白いでしょう。

(新ヶ江英子 記)